

WORK  
SHOP

## ワークショップ

周産期医療×ガスケアアプローチ×リハビリテーション

『フランス発:骨盤底筋群の保護から考える姿勢と呼吸』

日時: 2021年9月13日(月) 14:00~16:00(質疑応答30分含む)

現地開催とオンラインのハイブリッド開催(現地開催は先着60名)

(新型コロナウイルス感染症の拡大状況により対面は中止になることがあります)

場所: 広島大学霞キャンパス広仁会館2階大会議室(広島市南区霞1-2-3)

費用: 無料 申込: QRコードより対面かオンラインかを選択。9/3まで。

対象: 助産師と婦人科の看護師及び助産学生,理学療法士・作業療法士,産婦人科医

主催: 広島大学 助産・母性看護開発学研究室・大平光子



講師: 國本 文平  
作業療法士,

ガスケアアプローチ"破壊行為を伴わない腹筋運動", "ペリネ(骨盤底筋群)", "呼吸"研修会をInstitut de Gasquet, Parisで受講。からだあそび大学ピソアダラカ主宰。  
原田リハビリ整形外科勤務。



周産期医学・ガスケアアプローチ・リハビリテーション

## 『フランス発:骨盤底筋群の保護から考える姿勢と呼吸』

私、國本 文平は Institut de Gasquet à Paris で、夫婦でガスケアアプローチを受けていました。その後、妻がフランスで2児を出産する経験から、ガスケアアプローチのコンセプトを体感し3つの指導資格を取得しました。リハビリの臨床においてガスケアアプローチをどう活かしているのか学び実践していただきます。

日時：2021年9月13日(月) 14:00~16:00(質疑応答 30分含む)

現地開催とオンラインのハイブリッド開催(現地開催は先着60名)

(新型コロナウイルス感染症の拡大状況により対面は中止になることがあります)

場所：広島大学霞キャンパス広仁会館2階大会議室(広島市南区霞1-2-3)

費用：無料

申込：URLのリンクもしくは、QRコードより対面かオンラインの参加か選択してお申し込み下さい

申込締め切り：9月3日まで

対象：助産師と婦人科の看護師及び助産学生、理学療法士・作業療法士、産婦人科医

主催：広島大学 助産・母性看護開発学研究室・大平光子

申込 URL: <https://forms.office.com/r/0vGMylVL2B4>

お問い合わせ：[nao-kaneko@hiroshima-u.ac.jp](mailto:nao-kaneko@hiroshima-u.ac.jp) (カネコ)



講師紹介：國本 文平：Bunpei KUNIMOTO 作業療法士 ダンサー

からだあそび大学ピソアダラカ/ディレクター

兼ストレッチ、トレーニング、マッサージ、姿勢と呼吸 講座/特任講師

15歳の時、交通事故に合いリハビリのためにクラシックバレエを始める。文化庁新進芸術家海外研修生2016-2018、ポーラ美術振興財団在外研修員2018-2019として渡仏し創作や医学の研究をパリ大学医学部などで深める。2004年よりフィットネスインストラクターとして仕事を始め、これまで、広島市や横浜市、日本バレエ協会、DENSOなどでも講師をする。広島大学医学部で作業療法士の免許を取得し、作業療法士として、またダンサーとして医学と芸術を舞台やワークショップにおいて融合させ、より良い心身の在り方を探求している。周産期医学より生まれたフランスの骨盤底筋群と体幹の運動療法ガスケアアプローチの“骨盤底筋群”、“破壊行為を伴わない腹筋運動”、“呼吸”の3つの指導者資格を Institut de Gasquet, Paris にて取得。このアプローチは、フランスのオリンピック選手の基礎トレーニングとして採用されている。

学士(総合科学(哲学)、保健学)、イギリス産業理学療法士協会:職場環境アセスメントコース修了

現在、原田リハビリ整形外科リハビリ部長、広島大学医系科学研究科博士課程前期・作業行動探索科学室。